

すくいし 議会だより

No.77
編集 議会広報編集特別委員会



○今号の主な内容

3月定例会のあらまし…2～8

予算特別委員会…9～13

町の考えを問う

一般質問 5議員が登壇…14～18

常任委員会の活動報告…20～21

皆さんからのご意見／ふるさとへの便り…22～23

3月定例会のあらまし

東日本大震災に寄せて

町議会議長 平子 忠雄

この度の東日本大震災の発生により亡くなられた方々に哀悼の意をささげ、そしてご家族の方々に心からのお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

今回の震災では当町でも停電が発生し、食料やガソリン、灯油などといった生活必需品の物流が滞るなど、町民生活にも甚大な影響がありました。消防団や地域コミュニティ組織をはじめ、多くの町民の皆様のご協力により大きな混乱を避けることができましたことは、誠に感謝の念に堪えません。

地震の混乱と余震が続く中で3月定例会を無事終えることができましたが、町長はじめ当局側にも真摯なるご協力と答弁をいただき、新年度の一般会計、特別会計予算を全て可決することができました。

景気の低迷に加え、この度の震災が大きく影響し、依然厳しい経済情勢になると思われます

が、創意工夫をもって限られた財源を有効に活用していただくことを切に願うものであります。

町民の皆様の一刻も早い安寧で安全安心な生活の確立に向け、議会と行政が一丸となって取り組んでいく所存であります。より一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



黙とうをささげる議員ら

予算総額134億5,689万円を可決 第二次総合計画の前期基本計画がスタート

平成23年第4回定例会は、当初は3月2日から3月16日までの会期ではありましたが、東日本大震災への対応のため、2日間延長し17日間で行われました。

冒頭に町政の基本方針となる、町長による施政方針演説と教育委員長による本町の教育の指針となる教育施策方針演説がありました。

本定例会では、報告案件が1件、条例案件が1件、条例の一部改正案件が6件、補正予算案件が16件、議決を求める案件が7件、総合計画に係わる案件が2件、予算案件が11件ありました。

計44件の議案はすべて原案を可決し、他に請願1件と陳情1件がありましたが、陳情のみ採択しました。

一般質問は5人が登壇し2日間にわたり、まちづくり、総合計画、国保制度、診療所の経営改善対策、生活環境整備等について町当局の考えをたしました。

条例の制定

○鶯宿温泉駐車場条例の制定について(全員賛成⇒可決)

鶯宿温泉駐車場の設置と管理に関し必要な事項を定める。駐車場の利用は原則無料、月極めの場合は1区画6,300円。

条例の一部改正(主なもの)

○雫石町課設置条例の一部改正について(全員賛成⇒可決)

税務出納課を税務課に、産業振興課を農林課と観光商工課に分割する。職員の特殊勤務手当に関する条例と農林業政策審議会条例についても引用している課の名称を改正。

○雫石町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について（全員賛成⇒可決）

特別職の職員で非常勤のものについての職の廃止等に伴い所要の改正。交通安全対策会議委員の報酬として月額6,100円を追加し、経営所得安定対策推進指導員に関する条項を削除。

○雫石町手数料条例の一部改正について（賛17、反1⇒可決）

平成20年4月から平成23年3月までの間、暫定的に無料としていた住民基本台帳カードの交付手数料について、平成23年4月以降も継続。

○雫石町国民健康保険条例の一部改正について（全員賛成⇒可決）

平成21年10月から平成23年3月までの間、暫定的に引き上げていた出産育児一時金（39万円）の支給額について、平成23年4月から恒久化。

条例の一部改正の主な質疑

問 税務出納課が税務課になるということであるが、出納室はそのまま残るのか。また、会計管理者はどうなるのか。

答 税務出納課は税務課と出納課に独立させ、出納課については条例ではなく規則で位置付ける。会計管理者については、出納課長が会計管理者を兼務する形で検討したい。

問 産業振興課は農林課と商工観光課を一緒にしたものであったが、今度はまた分離するという。理由は組織機構改革の実施という一言であるが、実務上どのような問題があったのか。

答 課の業務が広範、多岐にわたることが第一点、農業情勢が予想以上に厳しい状況にあるということが第二点。第三点は、観光や商工も落ち込みが改善せず、特に観光客の入り込み数が改善しなかったため、それぞれ独立した形で業務の強化を図っていきたい。



新しく設置された観光商工課

問 産業関係をまとめて産業振興課としていたが、いずれ他の課についても、統括して整理されと感じていた。今回の改革は後退したような感じがするが、誰がこの産業全体を統括していくのか。

答 従来と同様に産業振興部門という位置付けの中で企画監は設けていく。現在は産業振興課長が企画監を兼務しているが、今後については町長が人事で検討していくことになる。平成23年度中に少人数の課のあり方等を含めて全体的な検討をする予定である。

平成23年度各会計当初予算の成立までの推移

予算特別委員会の設置 委員長 前田 隆雄 副委員長 田中 栄一	11 会計を 予算委員会 付託	会計名	予算額	対前年比	採決結果	本会議
		一 般 会 計	78億7,000万円	1.3%	賛17、反1⇒可決	
		国民健康保険	20億231万円	1.3%	全員賛成⇒可決	
		御明神財産区	238万円	△83.2%	賛13、反5⇒可決	
		下 水 道 事 業	9億9,793万円	18.9%	全員賛成⇒可決	
		農業集落排水	1億5,707万円	△2.4%	全員賛成⇒可決	
		簡易水道事業	2,753万円	△9.6%	全員賛成⇒可決	
		介 護 保 険	13億6,693万円	12.4%	全員賛成⇒可決	
		介護サービス	1,084万円	2.0%	全員賛成⇒可決	
		雫石診療所	4億6,469万円	5.6%	全員賛成⇒可決	
		後期高齢者医療	1億2,479万円	△8.7%	全員賛成⇒可決	
		水 道 事 業	4億3,242万円	△17.9%	全員賛成⇒可決	
		総 合 計	134億5,689万円	2.6%		
		予算特別委員会開催日 3月10日、11日、16日、17日				

問 当初から町長が農林課を設置するという町民との約束があった。農林課をこれからどのような形に持っていくのか。

答 現在の疲弊している雫石町の農業を、どの方向へ向けるかは、行政、JA 新いわての役割がある。生産者、外部の組織等からなる、農業のあり方を議論する組織を早い時期に構成したい。何が今一番困っているか、その次に展開するものは何かなどを組み立て、雫石農業のあり方を考えていく。



復活した農林課

一般会計補正予算(平成22年度主なもの)

○雫石町一般会計補正予算(第9号)(全員賛成⇒可決)

補正前の額	補正額	計
85億1,212万0千円	△2,049万7千円	84億9,162万3千円

- ▶下水道事業特別会計繰出金 2,404万2千円
- ▶介護保険事業勘定特別会計繰出金 1,932万4千円
- ▶後期高齢者医療特別会計繰出金 755万1千円
- ▶林道施設災害復旧工事請負費(減) △1,130万8千円
- ▶道路新設改良工事請負費(減) △900万0千円

一般会計補正予算の主な質疑

問 仙北雫石観光圏連絡協議会の負担金 50 万円減の意味は。

答 経済や人的交流などで観光エリアとして魅力を高めるために、連携組織の設立を目指して数回協議検討を行った。平成 22 年度の予算は減額するが、改めて継続して協議することになった。アクセスや観光ルートの確立、グリーンツーリズムの推進、秋田駒ヶ岳を中心にしたイベントを引き続き検討したい。

問 株式会社しずくいしの総会はいつか。役場が筆頭株主で副町長が役員の任に今まで当たっていたが、一日も早く決められたルールに乗って役員を派遣すべきではないか。

答 例年総会は5月になるが、経営に関して大変不安を与えており、その責任は大変大きいと思っている。副町長の後任についても今真剣に考えている。経営役員についても、なるべく早いうちに決めたい。



(株)しずくいしが運営する道の駅

問 委託料の割合が本町は多い。本来職員が自らやらなければならないものまで委託している場合が多いと感じるが、委託事業について聞いてみると委託しているから分からないという答えが非常に多い。平成 23 年度予算を組むに当たってその部分をしっかりと精査したか。

答 さまざまな分野の委託があり、職員スタッフでは処理できないようなものも多数あると認識している。予算編成に当たっては各課における評価内容を受けた平成 23 年度の事業について実施方法や必要性を精査し、最終的に町長査定を経て予算編成をした。

特別会計補正予算(平成22年度主なもの)

○雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(全員賛成⇒可決)

補正前の額	補正額	計
19億9,252万5千円	186万円2千円	19億9,438万7千円

- ▶被保険者等療養給付費 1,557万9千円
- ▶保険財政共同安定化事業拠出金(減) △930万8千円
- ▶一般被保険者療養給付費(減) △517万3千円
- ▶出産育児一時金(減) △255万6千円

○雫石町御明神財産区特別会計補正予算（第1号）（賛16、反2⇒可決）

補正前の額	補正額	計
1,415万3千円	125万0千円	1,540万3千円

- ▶財産区有林整備事業委託料 125万2千円
▶御明神財産区運営基金利子積立金(減) △2千円

○雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）（全員賛成⇒可決）

補正前の額	補正額	計
12億9,114万0千円	1億7,462万2千円	14億6,576万2千円

- ▶施設介護サービス給付費負担金 1億1,333万5千円
▶居宅介護サービス給付費負担金 2,738万7千円
▶介護給付費準備基金積立金 2,565万3千円

○雫石町立雫石診療所特別会計補正予算（第2号）（全員賛成⇒可決）

補正前の額	補正額	計
4億3,227万6千円	348万7千円	4億3,576万3千円

- ▶医薬材料費 1,036万0千円
▶償還金利子(減) △249万0千円
▶総務管理費賃金(減) △147万9千円
▶総務管理費委託料(減) △123万3千円

○雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）（賛17、反1⇒可決）

補正前の額	補正額	計
1億3,666万5千円	△1,370万9千円	1億2,295万6千円

- ▶県後期高齢者医療広域連合負担金(減) △1,389万7千円
▶一般会計繰出金 18万7千円

特別会計補正予算の主な質疑

問 介護ヘルパーの待遇改善がかなり要求されているが、どのように検討し対処するのか。また今後、介護保険がますます厳しい財政状況にあることは分かるが、介護保険料が高くなって大変だという声もあることから、どのような考えで進めるのか。

答 平成22年度についても基金を取り崩して安定した運営を目指したが、給付が伸びたことで計画外の繰り入れをしなければならなかった。サービスを低下させず保険料の負担は抑えるという、相反する対策をしていかなければならない。平成23年度にはヘルパー等の待遇改善も含め、保険料の改定も検討しなければならない。

追加補正予算(震災に伴うもの)

○一般会計補正予算（第10号）（全員賛成⇒可決）

補正前の額	補正額	計
84億9,162万3千円	4万6千円	84億9,166万9千円

- ▶災害による職員手当 880万0千円
▶中学校修繕料 10万5千円
▶財政調整基金積立金(減) △336万7千円

○下水道事業特別会計補正予算(第5号)(全員賛成⇒可決)

補正前の額	補正額	計
8億6,201万3千円	63万9千円	8億6,265万2千円

- ▶燃料費 12万7千円
▶汚水汲み取り手数料 48万2千円

○農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）（全員賛成⇒可決）

補正前の額	補正額	計
1億6,033万7千円	23万5千円	1億6,057万2千円

- ▶燃料費 3万0千円
▶汚水汲み取り手数料 20万5千円

財 産

○財産の譲与に関し議決を求めることについて（全員賛成⇒可決）

雫石・滝沢環境組合設立に伴い、ごみ焼却施設及び関連する土地を無償で譲渡。

1. 譲与する財産

- (1) 土地（清掃センターおよびストックヤード敷地） 9,282.87㎡
(2) 建物（清掃センターおよびストックヤード）鉄骨鉄筋コンクリート造 2,952.32㎡

2. 譲与する相手方

岩手郡滝沢村鶴飼字中鶴飼 55 番地
雫石・滝沢環境組合
管理者 滝沢村長 柳村 典秀



譲渡される清掃センター

指定管理者

公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて（指定の期間 平成23年4月1日から平成27年3月31日まで）

施設名称	指定管理者	採決結果
雫石町観光物産センター	一般社団法人 しずくし観光協会 理事長 工藤 敏英	全員賛成⇒可決
雫石町児童館	特定非営利活動法人わらしや んど雫石 理事長 坂下 悦雄	賛17、反1 ⇒可決

請負契約の変更

○雫石町高速情報通信基盤整備工事（第1工区）の請負契約の変更に関し議決を求めることについて（全員賛成⇒可決）

光ファイバー布設減に伴い変更契約 3億 6,225万円を 3億 3,077万 9,400円に改める。

○雫石町高速情報通信基盤整備工事（第2工区）の請負契約の変更に関し議決を求めることについて（全員賛成⇒可決）

光ファイバー布設減に伴い変更契約 3億 240万円を 2億 4,955万 4,550円に改める。

こうなりました 請願・陳情

○請願 保険料の値上げに直結する国保「広域化」に反対する意見書採択を求める請願（不採択）

提出者 = 岩手県社会保障推進協議会 代表 高橋 八郎
盛岡地域労働組合連合会 代表 森本 俊雄
全日本年金者組合盛岡支部 代表 後藤 法夫

○陳情 深沢地内排水路の改修整備に関する陳情書（採択）

提出者 = 赤滝行政区長 山本 昭二
赤滝公民館長 高橋 一男
赤滝農家組合長 米澤 長悦

臨時会

平成23年第1回臨時会が1月21日に開催されました。本臨時会では補正予算案件が1件あり、原案を可決しました。

○平成22年度一般会計補正予算（第7号）（全員賛成⇒可決）

補正前の額	補正額	計
83億2,323万8千円	1億5,275万4千円	84億7,599万2千円

▶町営野球場スコアボード改修工事 5,836万7千円
▶中央公民館舞台吊物設備改修工事 1,730万4千円
▶保健センター空調設備整備工事 816万9千円
▶橋場小学校屋根塗装工事 525万9千円
▶雫石小学校調理室空調設備整備工事 342万9千円

平成23年第2回臨時会が2月8日に開催されました。本臨時会では補正予算案件が1件あり、原案を可決しました。

○平成22年度一般会計補正予算（第8号）（全員賛成⇒可決）

補正前の額	補正額	計
84億7,599万2千円	3,612万8千円	85億1,212万円

▶町道除雪業務委託料 3,530万6千円

平成23年第3回臨時会が2月23日に開催されました。本臨時会では教育委員の同意案件が2件あり、2件とも同意しました。

○教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて（全員賛成⇒同意）

欠員となっていた教育委員の任命に同意しました。



氏名 よしかわ けんじ 吉川 健次 氏
(64歳・上町1・2行政区在住)
任期 平成23年3月1日～
平成25年12月25日



氏名 いわたし ときこ 岩持 斗季子 氏
(55歳・岩持行政区在住)
任期 平成23年2月23日～
平成26年9月30日



雫石町の未来を決める 第二次総合計画がスタート

第二次雫石町総合計画基本構想

平成31年度までの9年間を期間とし、町の目指すべき将来像を「みんなが主役 誇らしく心豊かなまち しずくいし」と定め、その視点として、「自主・自立、人材育成、交流・連携」を掲げている。施策の大綱として「環境を守り育てるまち」、「心豊かに暮らせるまち」、「健やかでやすらぎのあるまち」、「産業力を高めあい活力みなぎるまち」、「安全に安心して暮らせるまち」の5項目を定めている。

第二次雫石町総合計画前期基本計画

平成23年度を初年度とし、平成27年度までを目標年次とする5カ年計画である。

基本構想で掲げた将来像の実現に向けて基本的な考えを示し、施策の目的、施策展開における現状および課題、施策の基本方向、みんなで目指す目標として指標ごとに目標年次における目標値を明らかにし、目標達成のための役割を明確にして住民、活動団体、企業、事業者、行政などが一体となって計画の実現を図るためのもの。

総合計画に係る議案の採決結果

- 第2次雫石町総合計画基本構想を定めることについて（賛12、反6⇒可決）
- 第2次雫石町総合計画前期基本計画を定めることについて（賛11、反7⇒可決）

主な質疑

問 小学校区単位の自治区よりも、74ある行政区に自治会をつくるほうがむしろ効率的と思う。例えば雫石小学校区が地域自治区だとあまりにも広過ぎて、結いや人のつながりが身近に感じないと思うが、そう進む可能性強いのではないか。

答 行政区単位ではいろんな地域の活動が小単位すぎて、少しコミュニケーションの幅が狭い人の交流になっていく。長い間、地域の人たちの交流は小学校区単位でされてきた。もっと自主的なものをしていくためには、行政区を基礎としながらも、少し広めていく方が地域力が広がるという構想である。

問 各担当課や政策方針会議、総合計画策定委員会で、どのように町長のマニフェストの政策、施策を事前評価し、その実現の手立てを検討、協議して総合計画基本構想に落とし込んだのか。

答 タイトル等も含めて70項目ほどあるが、そのうち直接的にマニフェストに書かれた表現そのもの、そうでないものも含めて、その趣旨あるいはその方向性なりを総合計画として表すことができたのは50項目ほどである。

討 論

反対討論 = 大村昭東議員

住民主権のまちづくりの仕組みを示す事と効果的、効率的な行財政運営に関する部分を欠落させてはいけない。

また、町民が議会参加できる一般会議の創設が前期基本計画に示されていない。

マニフェストで約束している項目をどのように第二次基本計画前期基本計画に落とし込むか、今一度見直すべきもの考える。

賛成討論 = なし

町当局に 6 項目の意見を提言

意見

1

病後児等保育事業は経費をかけて他町村に先駆けて実施するため、PRを徹底し、隣接の滝沢村や盛岡市繫地区などからも受け入れて利用率を上げるべきである。



意見

2

タレントなどを起用し経費をかけてPRするより、例えば「葛根田川のせせらぎ」または「竜川のせせらぎ」など、自然の綺麗な水で育った米」というPRの方法もよいのでは。



意見

3

町外からの転入者を増やすための体験居住施設として、定住促進住宅や教員住宅の空き部屋を活用しては。



意見

4

町財政が厳しい中、経費削減を図るため御明神財産区を町が直接管理できるように協議してもらいたい。



意見

5

ファミリーマラソンの参加賞である温泉入浴券は、使用期限を当日限りとせず、利用効果上げるため3日間ぐらいとすればよい。



意見

6

防災行政無線は聞こえにくいときがある。各戸受信型の機器を各家庭や防災コミュニティ等で欲しい場合には補助金を出すなどの支援をしては。



平成23年度予算の議決に対する討論

反対

伊藤哲夫議員

町としても財政が厳しい中、町民もまた苦しい生活を余儀なくされているのが現状である。一般会計においては、堆肥センターの赤字を町の持ち出しにより運営せざるを得ない状況であり、特別会計においても御明神財産区を内部の課で担当するなど改めるべき点があり、財源を生み出す努力が必要と思われることから反対する。

討論

賛成

加藤眞純議員

この度の歴史的な大震災において、町としては何をおいても予算を成立させ、執行することが町民の生活維持と今後の復興のための最重要課題と考える。町を取り巻く財政環境が厳しい中、生活優先の無駄遣いのないきめ細かに配慮された予算編成が随所にうかがわれる。執行する者一人ひとりが自信とコスト意識を持って、公正で公平なまちづくりに住民と心一つにして邁進することを期待し賛成する。

予算を徹底チェック

平成23年度各種予算審査の中で取り上げられた主な質疑内容。

歳入・総務費

問 農業活性化推進基金繰入金は、農業経営体質強化事業や水稲生産緊急支援事業など緊急対策として取崩して農家に交付すべきと提案した。4,540万円を予算化するが、今後の農業活性化推進基金のあり方について問う。

答 基金に係る運営委員会の協議では、財政事情が許せばもう少し強化して農業支援を検討する意見が出ている。



農業支援は急務

問 マニフェストに「予算編成の町長査定や給与決定経過を公開する」とあるが実際に公開して予算を組んだのか。

答 平成23年度の予算編成に当たってはどのような形で公開するか等の制度設計に時間的余裕がなく、傍聴などの公開はできなかった。平成24年度以降の予算編成においては、公開の方法を検討しながら取り組んでいく。

問 町債について、「雫石町の借金が154億5,000万円あるというのが本当か。他県には破たんした町村もあるそうだがわが町もそうなるのではないか。」という町民からの声がある。町民に誤解されないように、丁寧に分かりやすく情報提供すべきではないか。

答 町広報に予算決算を掲載しているが、一般会計の掲載なので、町の借金は把握しづらいと思われる。何が一番町民にとって分かりやすいか検討し、公表に努める。

問 町内3診療所の貸付収入の基準と今後の診療所のあり方は。

答 昭和54年に当時の土地、建物等の金額を試算し、御明神診療所8万円、西山診療所8万円、御所診療所7万5,000円の月単価となっている。診療所の今後については地域医療協議会で検討していくが、3診療所とも地域の人々に大変信用があるため、長く経営してもらいたい。

民生費

問 あねっこバスの利用状況はどうなっているか。予約時の接客態度が良くないと聞かすが、受託しているNPOは利用者確保やサービス向上などに役割を果たしていないのではないか。現行の運行主体の会社1社体制や委託事業契約のあり方を見直すべきではないか。

答 利用状況は、平成19年度がピークで3万2,500人であったが、今年度は2万5,700人ぐらいになる見込みで、3年連続で減少している。NPOは利用者の要望や苦情の受付、運行主体との連絡調整など事業全体のマネジメントを行っている。サービスを徹底し、交通弱者の方々のためになる事業でなければならないと考えている。見直しについては検討したい。

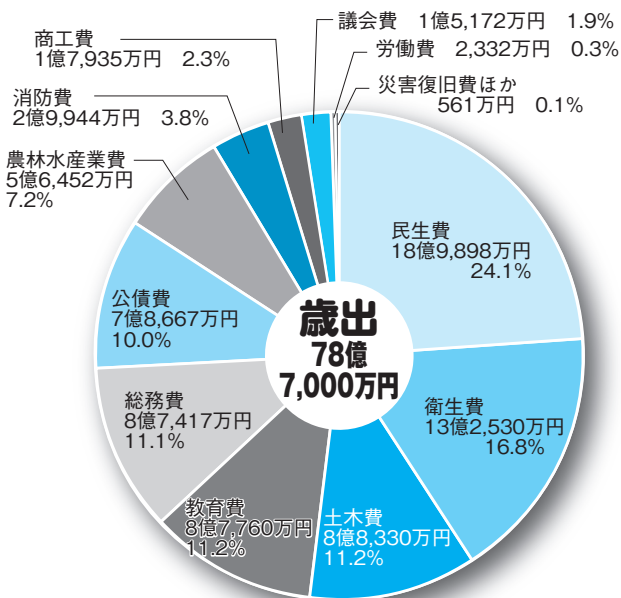
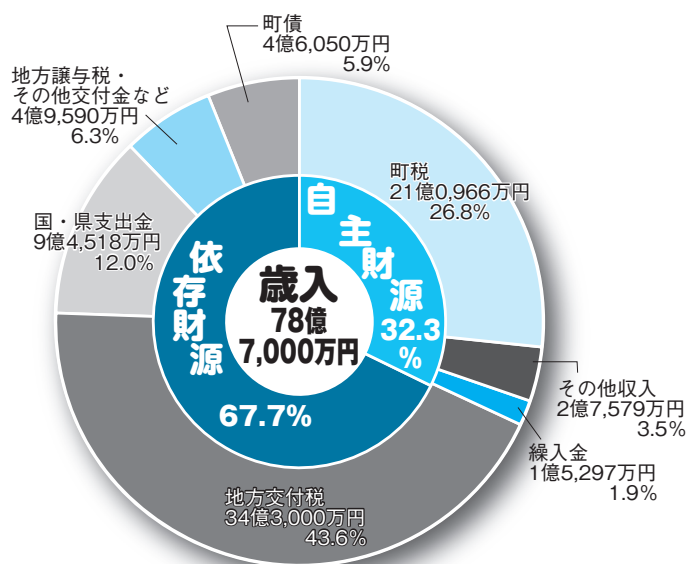


交通弱者の足となっているあねっこバス

数字で見る予算

一般会計

歳入・歳出の内訳



問 燃料費はさまざまな費目に出ているが、これら燃料費の支払いが町がまとめて払っているか。また、随意契約により特定業者に市価より高い価格で納入させているのであれば、コスト意識を持って見直しをしてもらいたい。

答 公用車のガソリン、公共施設の重油や灯油、LPガスは町で支払っている。ガソリンは町内にスタンドのある5社とLPガスも町内の5社と契約をしている。燃料は価格変動があった都度、変更契約を取り交わし、それに基づき納入してもらっているが、その日の表示価格での請求ではないので、価格変動があった時点より高い場合や安い場合がある。

衛生費

問 町長は、町有地に隣接し御所ダムに直結している川の上流に大量の不法投棄があることを知っているか。処理について県と協議を進め、町でも水質検査を考えるとのことであったが、どうなっているか。

答 承知していない。調査の上、対処していく体制をつくる。もちろん県とも協議し、水質調査も進めていく。

問 雫石・滝沢環境組合負担金 3 億 3,546 万 6 千円が予算計上されているが、平成 22 年度までの一般廃棄物処理業務委託料に比べ増額になった。増額の理由は何か。

答 ごみ処理の安定処理を目的に組合を設立したため、組合の運営費（組合議会運営費、職員人件費等）1,913 万円や清掃センター建設に係る地方債の償還金等が 1 億 4,400 万円ほど必要になったため増額になった。



雫石・滝沢環境組合で運営する滝沢村清掃センター

町民
一人あたりの
歳出金額

ワンポイント解説

民生費……主に高齢者、障害者、子どもの福祉に使うお金



公債費……町債（町の借金）返済に充てる経費



商工費……町内の商工業の支援や観光振興などに使うお金



労働費……雇用対策や勤労者の支援に使うお金



衛生費……健康づくりや環境対策、ごみ処理などに使うお金



平成23年3月末
人口18,275人で試算

430,641円

議会費
8,302円

総務費
47,834円

民生費
103,911円

衛生費
75,520円

労働費
1,276円

農林水産業費
30,890円

商工費
9,814円

土木費
48,334円

消防費
16,385円

教育費
48,022円

災害復旧費
33円

公債費
43,046円

予備費等
274円

問 雫石・滝沢環境組合の負担金積算の考え方や今後の財政負担の見通しはどうなっているか。

答 組合費用の負担割合は均等割10%、利用割90%としており、この90%部分に当該年度の前2年間のごみ排出量割合を掛けて積算している。当町のごみ排出量が増えれば負担金も増えるので、ごみの減量化にさらに取り組んでいかなければならない。償還金は平成29年度には終了する予定である。

農林業費

問 アグリビジネス応援事業補助金の新設の内容は。

答 農家所得向上のため、雫石産の農畜産物の加工施設、その加工品の直売施設、農家レストラン等の事業化に補助するもので、補助率は対象経費の3分の1以内、上限100万円、個人も対象になる。

商工費

問 東日本大震災を機に融資斡旋協会の復活、もしくは雫石型融資制度を設けては。

答 農業者、商工業者とも対象に、現実的課題を整理しながら制度などを検討していく。

問 着地型旅行商品開発調査事業委託料の目的は、また、東京事務所を活用しては。

答 JR東日本と地元の大学生が連携して首都圏の大学生向けモニターツアーを企画実施し、県内の大学生が町内ガイド・PRするもの。平成22年度は2名の参加者のみ。東京事務所活用は提案はその方向で検討する。

問

まちおこしセンター管理委託料 1,255 万円、物産販路拡大推進業務委託料 1,432 万円、商工会補助金 935 万円と多額の予算を計上しているが費用対効果の評価をしているのか。

答

委託業務全般について、1 年かけて職員で出さないか委託すべきかなど、事業の要否について費用対効果も含め精査、選別していく。



商店街活性化の一翼を担うまちおこしセンター

問

第 2 次鶯宿温泉活性化事業の 2 年目はどうなっているのか。

答

第 1 次でハード面の整備をした。これからの観光全体は鶯宿を含め、経営力すなわち全体的な誘客戦略を 5 年ぐらいの計画で進めていく考えである。

土木費

問

町営住宅で起きた凶悪事件の要因の 1 つでもある、住宅内でのペット飼育の問題を解決する必要があると考えるが。

答

入居条件にペット禁止まではうたっていないが、入居の際、他の入居者に迷惑をかけないような配慮をお願いしている。今後はある程度限定する方向を考えている。

問

雇用環境が厳しい中で、臨時職員の契約、将来についての進路指導・動機付け、臨時職員希望待機者など、どのような方針で雇っているのか。

答

3 月 1 日現在、臨時職員と嘱託員はそれぞれ町長部局 40 名と 12 名、教育委員会 31 名と 20 名。契約期間は臨時職員 6 ヶ月、嘱託員 1 年という前提で募集、専門性のあるものは 2、3 年継続。経験者、母子家庭等を優先採用。進路指導等はやっていない。

教育費

問

町営陸上競技場で公認記録がとれるように、四種競技の公認施設にするべきではないか。

答

ルールが変わっても三種競技から四種競技に公認を変更せずにいた。昨年、四種の公認を取ろうとしたが担当の検定員から、非公認の期間が 5 年になっているので新規扱いになり、施設を整備し直すように指導された。多額の整備費がかかるため断念したが、日本陸連では問題ないという話もあるので、公認をとるためには再度申請するしかないと思っている。



大会誘致のためにも公認を

特別会計

問

国保特別会計を見ると、一般会計から多額の繰り入れをして国保税を据え置いている。このようなことは、国保加入者と別の制度に入っている町民との間に不公平が生じるとの議論もあるが、住民の実情を踏まえ、値上げは抑えていけないか。

答

国保の問題は、今後大変大事な時期が来ると思い、担当課には現況と今後の見通しについてプロジェクトを立ち上げて研究するように指示した。医療費が増加を続けており、重複受診や高額医療の方々が増えていることが大きな要因となっている。保険だけでなく医療、福祉、健康促進など総合的に取り組まないと減らすことはできないと考えている。現状のままでは、1 億 5,000 万円ぐらいの繰り入れになる見通しである。いずれ国

保税の値上げの問題に突き当たる可能性があるの
で、きちんとした対策を講じていく。

しずくいの国保 特集号
Shizukuishi no Kokuho 平成23年2月号

**一部負担金割合の据え置きに伴う
新しい高齢受給者証を送付**

●70歳以上74歳までの人の自己負担割合について

平成24年3月末まで窓口負担割合が1割（現役並み所得者は3割）に据え置かれます。
制度改正により、70歳以上74歳までの人のうち現役並み所得者（3割負担）以外は、平成23年4
月からお医者さんにかかったときの自己負担が2割に引き上げられる予定でしたが、平成24年3月
末まで1割に据え置かれます。

平成23年3月末まで
自己負担…1割
（現役並み所得者は3割）

平成24年3月末まで
自己負担…1割に据え置かれます
（現役並み所得者の3割は変更ありません）

高齢受給者証について

高齢受給者証には、自己負担の割合が示されているので、お医者
さんにかかるときは、必ず保険証と一緒に窓口で提示してください。
なお、制度の一部改正に伴い、70歳から74歳までの人で自己負担
割合が1割の人には、新しい「高齢受給者証」を3月下旬に送付いた
します。

（今月号の内容） ●新しい高齢受給者証の送付について……………1
●健診と医療費について……………2～3
●国保からのお知らせについて……………4

国保の情報を提供するしずくいの国保

問 介護保険事業第4期（21年度～23年度）計
画に対する実績はどうなっているか。

答 介護保険給付費が平成22年度の計画額12億
1,000万円あまりに対し、実績見込額13億4,000
万円あまりと大幅に上回っており、一般会計から
も計画外の繰り入れをしなければならない状況に
なっている。

問 介護保険の特別会計をみると、一般会計からの
繰入金が増加し予算額も伸びているが、こうした
原因は何か。

答 給付費の増加の要因は、認知症対応型通所介護
の利用者が増えていること、老人保健施設が40
床、新たにサービス開始をしたことにより施設
サービス費等が伸びていること、介護療養型施設
への入所者が増えていることの3点である。

問 今後の介護保険事業財政の見通しはどうか。

答 厳しい介護保険事業財政の運営となってきてお
り、第5期（24年度～26年度）計画では介護保
険料の改定等も含め対応していかなければならな
い。

総括質問

問 町長の町政に対する考え方が予算に反映された
のかという点では、十分とは言えないのではない
か。もっと深谷町政というものが分かる予算案で
あれば良かったが。

答 予算については、査定の時間が制約されたこと
もあり、総花的になっているかもしれないが、私
が主張したものも入っている。今後、1年間であ
らゆる項目を再度見直ししながら平成24年度に向
かって新しい予算の組み方を実現していきたい。

問 平成23年度の予算を適正に執行していくため
には3月までに副町長を選任する必要があったと
思うが、これから決めるのか。もしくは副町長な
しでいく考えか。

答 責任持って予算執行するには副町長は必要であ
る。間に合うよう進めている最中である。



町の介護を担う包括支援センター



質問者／
おおむらしょうとう
大村 昭 東 議員

退職金 20% カットの約束はどうなるか

総務課長／県の指導を受けて対応したい

大村議員 選挙公報と追加マニフェストで約束している三役の報酬 10% カット、退職手当 20% カットをどのように実現するのか。

町長 三役が決まり次第議会へ提案したいと思っている。

大村議員 市町村職員退職手当支給条例第 8 条第 2 項に規定するような不測の事態が生じた場合、退職金 20% カットの約束は守れなくなるのではないか。

総務課長 総合事務組合と協議し、県の指導を受けて対応したい。

大村議員 町民に約束しているマニフェスト約 70 項目の新政策・施策を、どのように新総合計画に落とし込み、平成 23 年度予算に具体化しているか。

また、新政策・施策をどのように事前の評価を行い、新体制のもとで新年度勢いのあるスタートダッシュで町政を運営するのか。

町長 マニフェストで町民に約束した約 70 項目のうち、約 50 項目を総合計画に反映させ、私自身がすべての事務事業に目を通し判断した。そして、現場と対話を重視した姿勢を貫き、職員の意識改革を図りながら諸施策を推進する。

大村議員 マニフェストで約束した「町民一人あたり所得 10% 上昇」の施策を総合計画に示していないのはなぜか。

経営推進課長 さまざまな観点から一つの

部分での施策としては盛り込まなかった。

大村議員 マニフェストで約束している新規雇用 150～200 人をどう創出するのか。

町長 総合的なことをこれから至急検討、実施計画に検討しなければと思っている。

大村議員 町民に約束している農業総生産 5% 増を実現する新機軸は何か。

産業振興課長 4 月下旬成案予定の農林業基本計画の中に組み込みたいと考えている。

大村議員 農業指導センター、農業者トレーニングセンターの充実以外に町農業再生の特効薬はないと思われる。パソコン教室のあり方、改革を含めてどのように考えるのか。

産業振興課長 予算議決後に速やかに 4 人の指導員を配置するよう交渉しており、担当課の課長自体も定期的に常駐する体制を検討したい。



大村議員の質問を受ける町長

質問者／
すぎさわとしあき
杉澤敏明
議員



第二次雫石町総合計画の重点は

町長／住民主役のまちづくりに取り組む

杉澤議員 現行の総合計画の将来像と第二次雫石町総合計画における将来像との違いや重点等は何か。

町長 第二次雫石町総合計画では町の目指すべき将来像を「みんなが主役 誇らしく心豊かなまち しずくいし」と定め、住民と行政が対等の立場でまちづくりを行う協働をより進化させた住民主役をキーワードに掲げ、目指すべき将来像の実現に向け各施策に取り組むこととしている。また、人口減少抑制対策である定住人口確保の取り組みを明確にした。

杉澤議員 第二次雫石町総合計画には、町長のマニフェストがどのようにもりこまれているか。

町長 私のマニフェスト約70項目のうち、およそ50項目が総合計画へ反映されており、前期基本計画期間内に確実に推進する。

米価下落に対する支援策は

杉澤議員 米価下落による厳しい経営環境にある農家への支援策が必要であるが、どのような対策を講じようとしているのか。

町長 水稻生産緊急支援事業費補助金2,074万円を予算計上した。種子購入費に係る経費のおおむね2分の1を食用米栽培面積に応じて交付する

もので、補助金額は10アール当たり1,000円となる。

魅力ある学校づくりの支援策は

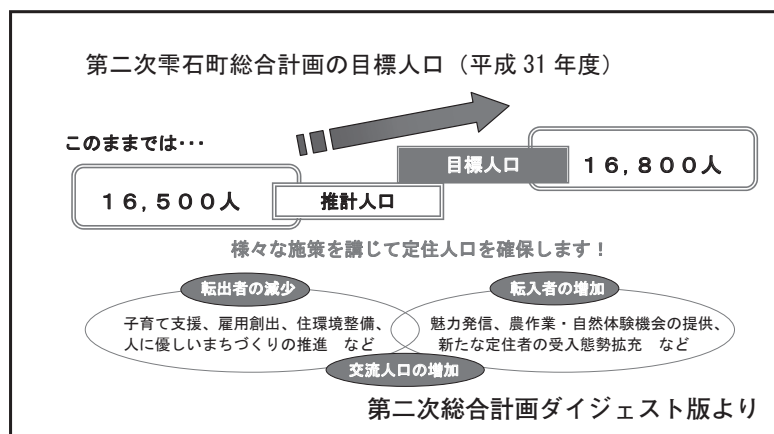
杉澤議員 雫石高校の魅力ある学校づくりの具体的な支援策をどう考えているのか。

町長 伝統芸能の伝承活動、保健劇活動、国際派遣事業、就職活動、中高援業研究会などへ引き続き支援していく。今後は、地域行事などへの生徒の参加促進、地域住民の学校への招聘、中高間の合同部活練習、夏休み中の講師による進学補修など、さらなる魅力づくりについて雫石高校、関係機関とともに検討していきたい。地域と一体となった取り組みができるよう支援していく。

自治区は小学校の適正配置と合わせ検討を

杉澤議員 自治区の検討に当たっては、町内小学校の適正配置のあり方と連動して検討するべきではないか。

町長 住民主権で元気な雫石をつくるためには、現在の学校区を単位とした自治区の新設にあると考えているが、今後、自治区のあり方について検討することとしており、現在の学校区ごとの設置にこだわるものではない。適正配置の検討と連動して考えるべきものではないと思っている。



一般質問



質問者／
いとうてつお
伊藤哲夫 議員

国保が広域化された場合、値上げになるのでは

町長／現時点では不透明

伊藤議員 政府は新しい高齢者医療制度の実施に合わせて国保の広域化を検討しているが、このような場合、国保税は値上げになると思われる。また、県内で市町村合併をした場合の国保税の金額は高い自治体に合わせているのが実態である。国保が広域化された場合、国保税が値上げになると思われるが町の考えは。

町長 国保の財政運営については、国において2段階の方向性が示された。国保運営を県と市町村が共同で実施していく仕組みが提案されているが、現在、岩手県内における国保税率については、各自自治体の実情に応じた税率となっており、広域化によって税率を統一する状況には

なく、現行のまま不均一で税率が設定され则认为している。

国保税の今後の見通しは

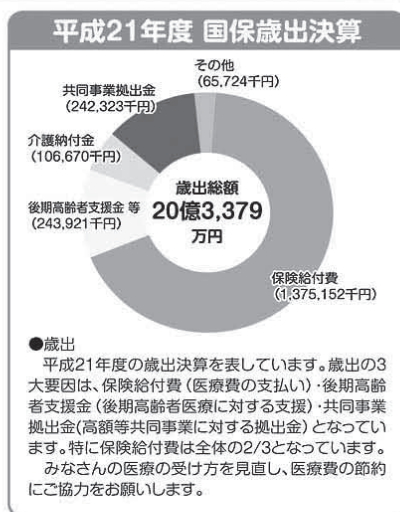
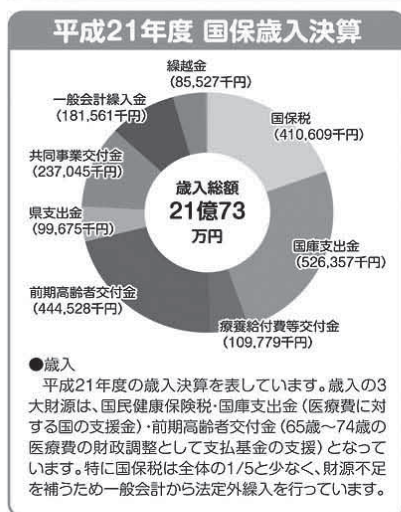
伊藤議員 国保税について調査した結果、町民の多くは国保税の抑制を要求している。町の今後の見通しを問う。

町長 国保加入者の高齢化、景気低迷による低所得者の増加により、国保財政は厳しさを増している。被保険者の健康の保持増進のための施策を進めて医療費の削減に取り組んでいるものの、収入不足については一般会計からの法定外繰入金により補って運営しているのが現状である。

国保は地域住民の保険として、住民の

医療と健康の保持増進のための重要な役割を担っていることから、収納率の向上や医療費削減などを進め、税制改正も視野に入れた適正な改善策を検討しながら国保財政の立て直しに取り組んでいく。

平成21年度の決算について



「しずくいしの国保」より

質問者
／
石亀 いしがめ
貢 みつぎ
議員



町立診療所の経営改善対策を

町長／さらなる経営の改善方策を検討

の連携強化など、さらなる経営改善方策を検討し、町民から一層信頼される診療所を目指し鋭意努力する。

難視聴地域の地デジ対応は

石亀議員 平成 23 年 7 月 24 日には、アナログ放送からデジタル放送に移行し、アナログ放送は見られなくなることをテレビ等で盛んに案内している。デジタル化の対応は、基本的に国が解決すべき問題と考えるが、本町の難視聴地域に対する対応を問う。

町長 平成21年10月に NHK、民放 4 社を含めた放送事業者 5 社の共同による中継局が七ツ森に開局し、地上デジタル放送が受信可能となり、難視聴地域に対しては共同受信アンテナを設置して対応を図ってきた。町民にとってテレビは重要な情報インフラであり、今後も地上デジタル放送への対応について周知、啓発を実施していく。

石亀議員 町立診療所の経営環境は非常に厳しい状況にあり、町財政にも大きな負担となっている。特に一般会計からの繰入金は、町民の貴重な税金を限りなく投入することはできないと考える。改革の方向を見極めることが喫緊の課題と考えるが、経営の改善策について問う。

町長 町立診療所の経営は大変厳しく、一般会計からの繰入金は、平成 22 年度は 1 億 2,000 万円となる見込みである。基本構想における収支計画は、有床診療所で約 7,300 万円の赤字が見込まれていたが、平成 19 年度から診療所化し規模や診療報酬体系が変化したため、一般会計から今回のような繰り出しをしたものである。

現在の経営状況は、入院は満床に達し、今後は外来収入を増額する取り組みとして、医師の確保、診療時間の改善、薬局の待ち時間の解消、運営



厳しい経営が続く 雫石診療所

一般質問



質問者／
うわのみよじ
上野三四二 議員

ダム堆砂土活用で、新産業興しを

町長／土採取経費が課題だが、調査をしながら検討する

上野議員 御所ダムの環境保全を図りつつ、堆砂土はミネラルを含む良質の腐植土で新しい農産品の活潑に活用できる。農業の再生や採取事業の新たな土木産業を興せる。国県など関係機関と協議して取り組む姿勢はないか。コテージむらで試作試験などを行ってはどうか。

町長 町が土砂を採取するのであれば、ダム管理事務所側から手続き等について協力いただく確認をしているが、相当の経費を要することが課題である。平成23年度においてはコテージ村への活用について、試験栽培が可能か検討していく。

生活環境の整備は公平に

上野議員 御所地区、特に南畑、西安庭南部地域の道路、上下水道ほかインフラ整備は町の緊急度や利用度、優先度の理由で遅れている。これは住民生活の公平性を欠いていないか。

町長 地域住民の陳情を受けて精査し、順次整備を行っている。特に道路は多額の費用を伴うことから優先度を設定して整備しているため、住民生活の公平性を欠いているとは考えていない。上下水道は費用対効果の出る区域を優先している。鶯宿幹線下水道は県への要望重点事項であり、

促進を強く働きかけていく。

スポーツ観光の推進を

上野議員 町営鶯宿ゲートボール場の屋外増設を図り、用地内にグランドゴルフ場などを併設することで、大きな滞在型大会の開催が可能となる。既設のケッパレランド、鶯宿総合グラウンド、南畑小体育館、男助山登山、ローラースキーコースの整備、コテージむら観光花園の造成、鶯宿温泉などを結び、関係者の手作りによるスポーツエリアを整備し、鶯宿など滞在型スポーツ観光を推進してはどうか。

町長 スポーツエリア構想は、町民はもとより観光利用にも期待でき、未利用地の活用にもつながる。誘客効果が期待できるものであり、各方面に相談しながら検討したい。



大量の土砂が堆積する御所ダム

あの質問は…その後どうなった

追跡
レポート

町議会で行われた質疑の中から 2 項目を選び、その提言が町政にどう反映されているのかを調査しました。



質 問

特別保育事業の充実のため病児・病後児保育事業を実施すべきではないか。
(平成 20 年 9 月議会)

処理状況

質 問

観光客に対する魅力づくりや地産地消の推進にあたっての農業、商工、観光の連携策は。
(平成 20 年 3 月議会)

処理状況

その後

七ツ森保育所に隣接し、平成 23 年 4 月より事業が開始された病児・病後児保育施設。

その後

商業、観光との産業間連携により町内で生産される安全安心で新鮮な農産物を提供する流通システムを構築し、交流人口の拡大と農家、生産者の所得向上を図るため、雫石駅南イベント広場、銀河ステーション内に施設整備を進める。



雫石・滝沢環境 組合の議員紹介

雫石町議会より3名の議員が選出されました。



坊屋鋪俊一議員
(環境組合議会副議長)



田中栄一議員
(環境組合議会監査委員)



上野三四二議員

3名の議員が 岩手県町村議会議長会から 表彰

この度、横欠議員、坊屋鋪議員、坂下議員（写真左側から）の3名の議員が、多年にわたり地方自治の振興発展に寄与されたことに対し、岩手県町村議会議長会より在職11年以上の表彰を受けました。今後ますますのご活躍が期待されます。



調査実施日／平成23年3月3日

調査項目／現地調査

合同

3常任委員会の合同調査として、町内に新しく完成した2つの施設を調査しました。

銀河ステーション内に完成した観光物産センターは、雫石町観光協会も入り観光と物産のPRを行うとのことです。

また、セツ森保育所に併設された病児・病後児保育施設を調査し、建設までの経過と今後の運営方針について説明を受けました。



説明を受ける議員

調査実施日／平成23年3月3日

調査項目／現地調査

総務

総務常任委員会（前田隆雄委員長）は、町で取得し管理運営する鶯宿駐車場の現状を調査しました。雪が解けしだいラインを引き、月極めの料金については近隣の料金を調査し6,300円とする説明がありました。



鶯宿活性化につながる運用を

常任委員会●活動報告

調査実施日／平成23年3月3日
調査項目／請願調査

教育民生

教育民生常任委員会（石亀貢委員長）は、請願第1号「保険料の値上げに直結する国保『広域化』に反対する意見書採択を求める請願」の審査を行い、国保の広域化については、現在、国において後期高齢者医療制度に替わる新しい高齢者医療制度の創設に合わせて検討している段階であることなどから不採択としました。

また、今後の閉会中の継続調査事項は、次の通りです。

1. 教育振興について
2. 福祉の充実について

調査実施日／平成23年3月3日
調査項目／現地調査、陳情調査

産業建設

産業建設常任委員会（猿子恵久委員長）は、以下の現地調査、所管事務調査等を行いました。

1. 川井林業の騒音に関する現地視察

3月3日、川井林業からの騒音に関する現地視察をしました。

騒音苦情があることから、今後も引き続き早期解決の方策を検討することとしました。

2. 陳情審査

平成22年12月10日に現地調査した深沢地内排水路災害に係る「深沢地内排水路の改修整備に関する陳情」を審査し、近隣住民の安全確保や被害防止の観点から何らかの対策を講じることが必要であることから、「採択すべきもの」と決定いたしました。

また、今後の閉会中の継続調査事項は、次の通りです。

1. 農業・観光の振興策について
2. 特産品の開発について
3. 産業振興について

議会だよりが岩手県の 町村議会広報コンクールで特選に！ ～全国コンクールでも奨励賞を受賞～

「しずくいし議会だより」が平成22年度の岩手県町村議会広報コンクールで特選の栄誉に輝き、町村議会広報の全国コンクールにおいても奨励賞を獲得しました。

審査員からは、質問と答弁が簡潔にまとめられている点や議案ごとの賛否が分かりやすい点などを評価していただきました。

町民の皆様にも「声」の欄をはじめ、さまざまなご意見やご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後も町民の皆様读到読みやすく親しみやすい広報紙をお届けできるよう努力してまいりますので、ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



前列左から田中委員、石山副委員長、谷地委員長、川口委員、後列左から加藤委員、杉澤委員、村田委員



議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



よしだ ともみ
吉田 智美さん
(38 歳・馬場行政区)

魅力ある町に

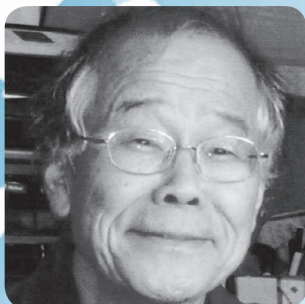
私は 12 年前に中国から雫石に嫁いできました。周りの方々は温かく迎えてくれました。

季節がはっきりとし環境もよく、自然も美しく、とても過ごしやすい場所で、私は来た当時と変わらず今もここが大好きです。

雫石には農業のほかに特産品もたくさんあります。地元の手芸品、食の匠、郷土料理、町内には手作り工房も結構あります。皆さんそれぞれ地産の野菜や肉、米などを使っています。このような特産品を展示して町内外の人にアピールする場所が必要だと思います。

昨年オープンしたしずく館、改装した観光物産センター、駅田舎、有名な軽トラ市など、皆さんからの税金を使っているけどこれも町の活性化になる一つの方法であると思います。さまざまなご意見はあると思いますが、これらのことを大切に、さらに多くの観光客が訪れるように議員の方々もご努力されていること、と思い感謝いたします。

魅力ある町になるようにと願う町民の一人です。よろしく願い致します。



やました よしひろ
山下 良弘さん
(71 歳・五区行政区)

魅力ある環境を伝えたい

3 月 11 日の巨大地震被害を伝えるテレビ画面は今になっても夢の中の出来事ようだ。地震といえば雫石に移り住んだ翌年の平成 10 年 9 月 3 日に起きた岩手県内陸北部地震 M6.2 で、玄武温泉では源泉が大きな被害を受け、その復興の苦労が忘れられない。幸い町からの支援を受けて 3 年後に玄武の濁り湯として復活できて、それを契機に足湯を作り、湯めぐりパスを作ってお客さんも戻ってくれた。地元の人たちと結成した地域おこしグループ「長山街道」には近隣地域からの来訪者も年々多くなっている。雫石の魅力の源にあるのは多様で豊かな自然と農地が織り成す季節感あふれた美しい景観ではないだろうか。

この地に住んで 13 年、山々は今も変わらず美しい。しかし、身近の自然環境はずいぶん変わってしまった。町の環境基本条例には「環境は子孫からの預かりもの」とある。何気ない身の回りの環境にもっと関心を持ちたいものだ。



えんどう まさみち
遠藤 正道さん
(67 歳・谷地行政区)

協働の仕組みを

東日本大震災直前の 3 月 9 日、本会議を傍聴しました。この日の一般質問の中にスポーツと観光について「当町の恵まれた環境をさらに整備して、積極的に集客を図るべき」との趣旨で、鶯宿南畑地域の振興を取り上げていました。

私の関わる雫石町ゲートボール協会は、来年度は県民体育大会の主管事業があり、平成 28 年度には国民体育大会ゲートボール競技の会場として打診されています。アルペンスキー大会以降、記念モニュメントは残りましたが、もっと有益な遺産（ノウハウや顧客ルート）が生かし切れていないような気がします。

これを機会に雫石町全体のスポーツ施設を整備し、雫石町全職員が、町民一人ひとりが、営業マンとなって積極的にスポーツイベントを誘致し、町民所得 10% アップの一助になればと願っています。そのためには必ず、始動時点で広報やホームページなどで広く町民からブレーンを募り、取材して、会議や組織に英知を組み入れて推進することをお願いしたい。形骸化した審議会に替わる真の「協働の仕組み」に必要な条例をお願いいたします。

最後に全議員の皆様に、高い志で当局と互角に議論し協力を得て、提案を質問で終わらせず実現していただきますよう、ご期待申し上げます。

在京雫石町友会 会員 ^{ふくしま}福島 ^{ゆき}幸さん(旧姓：上小林)



岩手山登山の厳しい経験が心の財産

父（庄徳）は海軍から復員後一時実家（長山、庄右衛門）で生活しておりましたが、昭和20年頃、雫石町陽和郷に居を構えました。

母（歌）は昭和24年から西山地区の助産婦として長年働いており町役場には大変お世話になりました。私は四人兄弟（私・妹・弟・妹）の長女として生まれましたが、雫石との縁が深く松尾鉱山に就職してからも雫石の実家には頻繁に帰っていました。両親とも多くの皆さんに本当にお世話になりました。

昭和18年頃大好きだった岩手山に登ったことがあります。弟の道案内で妹と一緒に、夜中に松尾から登り網張に下山するルートでしたが、登りのつらさは死ぬほどの苦しみであり、二度と登らないぞと思いました。しかし翌日は転がるように下山し網張温泉では本当に癒されたものでした。あの厳しい登山経験は、その後の生きる力にもなったし、今でも貴重な心の財産です。

雫石には多くの思い出があり、友人の藤沼

源三画伯が鶯宿長栄館の亡き社長と友人であったことから、「雫石あねっこのよしゃれ」の絵を見るのが楽しみで長栄館には何度か宿泊しましたし、盲腸手術のあと石塚旅館で静養した思いでもあります。町友会を通してふるさとの情報満載の会報を楽しく拝見しております。宮節子先生は女学校の一年先輩です。妹さんが松尾で先生をしていた関係もあり、現在もご活躍されているお姿を会報で拝見し、とても心強く懐かしく思いました。

海軍出身の父はとても優しく私を育ててくれました。しつけの厳しい母からかばってもらったこともあります。母は平成3年雫石で安らかに逝きました。ゆくゆくは大好きな岩手山の眺望がよい両親と同じ墓地に入ることになり、とても心の安らぎを感じています。

近況としては温暖な気候の土地で、近くに住む妹たちとは連絡をとりながら、盛岡（仙北町）出身の夫と仲良く老後を楽しんでおります。



自宅で母兄弟と。（中央が筆者）



左から弟（洋一）、筆者、妹（満）、妹（怜子）

福島 幸さんプロフィール

大正14年生まれ（86歳）。岩手大学附属幼稚園—附属小学校—盛岡女学校（盛岡二高）—松尾鉱業—岩手牛乳—野村證券—昭和47年から千葉県富津市に住み現在に至る。

栗石町へようこそ



お嫁さん

お婿さん



結婚式で夫の和人さんとの1コマ

ご縁があり、町外から迎えられた
「お嫁さん」や「お婿さん」が登場します。

えぞもり ゆか
夷森 由佳さん (27歳 久慈市出身)
(旧姓: 田老、上野野行政区在住)

Q- お二人の馴れ初めは?

- 友人の紹介で知り合いました。

Q- 栗石町で暮らしてみたいかですか?

- 家族をはじめ、たくさんの方々に優しくしていただき、とても過ごしやすいくところだと感じています。春になったら山菜を採りにいきたいと思っているので、今から楽しみです。

Q- 町に望むことは?

- 魅力的な食材等があるので、栗石町のことをもっと別な地域の方にも知っていただき、より活気のある町になれば良いと思います。

Q- 今後のお子さんの予定は?

- 2人は欲しいですね♡

議会を傍聴 しませんか

.....
**次回の定例会は
6月上旬に
開会予定です**
.....

～傍聴席は 4 階にございます～
議会事務局 ☎ 692-6596

お知らせ

＊ ＊ 町議会議員選挙は延期に ＊ ＊

本来であれば現職議員の任期は平成 23 年 5 月 8 日まででしたが、この度の東日本大震災の影響により特例として任期が延長されました。

延長期限、町議会議員選挙の日程は未定となっています。

■ 編集デスク

平成 22 年度の議会広報コンクールでは、おかげさまで全国では奨励賞を県では最優秀賞を頂きました。「皆さんの声を聞きました」「栗石へようこそ」等のコーナーに寄稿して頂きました皆様には心から感謝いたします。

任期中の最後の議会だよりを編集するつもりで、あらかじめ担当分野を割り振って 3 月定例会に臨みましたが、会期中に大地震に遭遇し、その影響で町議選が 2 か月から 6 か月の間で延期になるとのことです。

選挙がいつになるのか現時点では不明ですが、このメンバーでまた編集することになるかもしれません。

(編集委員長 谷地 善和)

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】
議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳 (1 月～3 月)】

月	葬祭費	お祝い、会費
1	0件 -円	2件 8,000円
2	0件 -円	4件 14,000円
3	0件 -円	2件 4,000円
合計	0件 -円	8件 26,000円

●今号の表紙/本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズでお届けしています。笑顔が絶えないまちの元気な子どもたちの様子を紹介。今回は、「御明神小学校」に通う児童たちの笑顔です。